

夏休み目前！安全に乗ろう！

自転車・電動キックボード

● 自転車・電動キックボードの乗り方のご注意:防災安全課 ☎84-0326
電動キックボードにかかる税金のご注意:税務課 ☎84-0313

改正道路交通法の施行により、今年の4月1日から自転車利用者のヘルメット着用が努力義務化、7月1日からは電動キックボードに関する交通ルールが大きく変わります。自転車や電動キックボードに正しく乗り、交通安全に気をつけて楽しい夏休みを過ごしましょう。



▲ 町では、町交通指導隊や松田警察署の協力のもと、開成小学校・開成南小学校の4年生を対象に「自転車運転免許講習」を実施しています。5～6月に両校で実施し、交通安全の意識を高めました。

電動キックボードのルール

7月1日から、16歳以上であれば免許を取得しなくても運転できるようになりました。手軽に運転できる乗り物になりましたが、様々なルールがありますので確認しておきましょう。

交通ルールを守りましょう

免許なしで乗ることができても、電動キックボードは自動車と同じく「車両」です。ルールを守らない危険な乗り方をすると、自分や他人を傷つける凶器になってしまいます。

- ・飲酒運転禁止
- ・原則、車両用の信号に従う
- ・道路標識等を守る
- ・原則、車道を通行する
- ・「ながら運転」をしない



自賠責保険への加入が必要です

自動車などと同じく、自賠責保険への加入が義務付けられています。たとえ事故を起こさなかったとしても、自賠責保険に未加入で運転した場合は、1年以下の懲役または50万円以下の罰金が科されます。必ず加入しましょう。

ナンバープレートが必要です

電動キックボードは、原動機付自転車に該当するため、標識(ナンバープレート)が必要です。電動キックボードを購入した場合や譲り受けた場合など、ナンバープレートを取得する際は、税務課で手続きをしてください。税金は、毎年4月1日に所有している方にかかります。電動キックボードは、原動機付自転車(第1種)と同じく、年間2,000円が軽自動車税として課税されます。



◀詳しくはこちら

自転車安全利用五則 + stop!ながら運転

警察庁の統計によると、令和4年中の全交通事故に占める自転車事故の割合は、約20%にのぼります。自転車の安全運転のために次のことを守りましょう。

自転車安全利用五則

- ・**車道が原則、左側を通行/歩道は例外、歩行者を優先**
自転車は車両です。車道の左側を通行しましょう。道路標識などにより歩道を走行できる場合も、歩行者の妨げになる運転はNG。
- ・**交差点では信号と一時停止を守って、安全確認**
安全確認は前方だけでなく、右、左、後方をしっかりと確認しましょう。
- ・**夜間はライトを点灯**
ライトは進路を照らし、周りの自動車や歩行者などに自分の存在を目立たせる役目があります。
- ・**飲酒運転は禁止**
一口でも飲酒したら、自転車に乗らない!
- ・**ヘルメットを着用**
自転車関連交通事故でのヘルメット非着用時の致死率は、着用時に比べて約2.1倍も高くなっています。ヘルメットは頭のサイズに合ったものを着用し、あごひもをしっかりと締めましょう。
- ・**スマートフォンを操作しながら、イヤホンで音楽を聴きながら、傘をさしながら、などの「ながら運転」をしない**



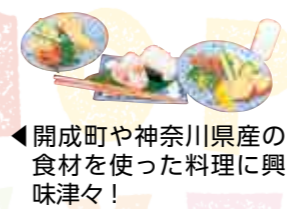
外国人の皆さん、開成町へようこそ！

瀬戸屋敷や開成水辺フォレスト・スプリングスなど町内の4か所で、日本観光に訪れた外国人の受入れツアーが開催されているとの情報を入手し、取材に行ってきました！参加者の様子や、ツアーを支えるボランティア団体さんにお話を伺いました。

● 調べて！まちの調査隊のご紹介:企画政策課 ☎84-0312
受入れツアーのご紹介:瀬戸屋敷 ☎84-0050

今回の参加者はアメリカ人。ランチの準備やボランティアさんとの談笑などを通して、日本の文化に触れる皆さん。

日本の良いところや印象を教えてください！



◀開成町や神奈川県産の食材を使った料理に興味津々！



日本人はみんなのことを考えてくれてとても親切だよ。もう少しだけ英語を話せるようになってくれたら、もっとうれしいな！

ITADAKIMASU !



季節やイベントを大切にすることが大好き。しかも綺麗で安全、Wonderful Country!



外国人だけでなく、地域住民との交流の場にも…



▲初期からツアーを支えるNPO法人郷の市の皆さん

去年の8月から受入れを行っており、今年は200回近くの受入れを予定しています。毎回多くの外国人の方とコミュニケーションが取れるのでとても楽しいです。最初は少なかったボランティアも、口コミなどで徐々に増え、今では主に7チームの皆さんが手伝ってくれています。将来英語の教師になりたい、

料理を振る舞いたい、折り紙を渡したいなど、様々な動機でお手伝いに来ています。その中には瀬戸屋敷に来てことがなかった人も。今まで会うことのなかった人たちが定期的に集まり、瀬戸屋敷や町のことをもっと好きになる。この受入れツアーは、そんな素敵な交流の場にもなっています。

また来てね！



取材後記

こんなに小さい町に海外からお客さんがたくさん来るのは新鮮で、とても嬉しいですね！やはりコミュニケーションはとても大切なことだと感じました。これからも町に外国人がたくさん来ると思うので、今から英会話を勉強しなくちゃ！(笑)

まちづくり情報特派員 武藤 一美